

目次

[概要](#)
[はじめに](#)
[表記法](#)
[前提条件](#)
[使用するコンポーネント](#)
[サンプル スクリプト](#)
[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、スクリプト キープアライブの実装について説明します。このスクリプトは、ユーザが指定したポートのソケットを開閉します。閉じるのは RST ではなく、FIN です。ポートのいずれかで失敗すると、サービスはダウンしていると見なされます。このスクリプティング方法は、リモート アクセス サーバ (RAS) のダイヤルアップクライアント、ターミナルプログラム、および一般的なスクリプトユーティリティに存在する機能と密接に関連しています。この機能は、WebNS の豊富なスクリプト言語を使用します。

簡単なソケット Application Program Interface (API) と (接続して下さい/接続解除/送信/受信)、スクリプト キープアライブ与えますユーザに自身のプロトコルを合わせる機能を完了して下さいまたはサービスの信頼できる `ALIVE` `DOWN` 提供するためにステップの自身のシーケンスを書いて下さい。スクリプト キープアライブ 機能性なしで、FTP、HTTP、ICMP および TCP に現在制限されます。しかしスクリプト キープアライブを使うと現在のプロトコルの上あなた自身のスクリプトを書くことによって残ることができます。たとえば、WebNS が KeepAlive型 POP3 を構築するように要求しないで POP3 サーバに接続するためにとりわけある調子を与えられるスクリプトを開発できます。この機能は顧客が特定の必要条件に適するために自身のカスタム キープアライブを作成することを可能にします。これが Content Services Switch (CSS) のコンポーネントであるが、カスタムスクリプトは Cisco Technical Assistance Center (Cisco TAC) によってサポートされません。

スクリプト キープアライブは下記の TAC によって公式のサポートを提供されないし、テストされ、あなた自身の思慮分別で利用可能です。

はじめに

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

前提条件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- WebNS バージョン 3.x 以上
- CSS 11000 シリーズ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

[サンプル スクリプト](#)

下記のスクリプトがユーザ 特定のポートのソケットを開閉したり使用することができます。

[関連情報](#)

- [CSS 11000 シリーズ コンテンツ サービス スイッチの製品サポート](#)
- [CSS 11500 シリーズ Content Services Switch の製品サポート \(英語 \)](#)
- [ダウンロードして下さい CSS 11000 ソフトウェア \(\[登録ユーザのみ\]\(#\) \) を](#)
- [ダウンロードして下さい CSS 11500 ソフトウェア \(\[登録ユーザのみ\]\(#\) \) を](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)